

技術を武器に、人を動かし、 街の水を守る。



電気 技査補

経歴

- ・令和元年10月～
下水道施設管理課 設備計画担当

Q.あなたの仕事を教えてください。

私の仕事は、水再生センター（下水処理場）や雨水排水ポンプ場に設置されている設備の更新計画策定業務や施設関連予算の管理、業務改善（DX）事業です。

高知市の下水道施設でも老朽化が進んでおり更新需要の増加が課題となっています。

100年先まで下水道が使えるよう将来を見通しながら、今後5～10年間で更新する設備やその対策方法についての計画を作っています。過去の工事記録や、日々の点検で得た情報を基に計画していきますので、経理を含めた下水道事業全般の知識や電気・機械設備の技術に加え、現場で維持管理を担当する職員や工事を担当する職員、民間事業者の方達との連携がとても重要になります。

令和8年度からは、ノーコードツールを使って業務支援システムの開発に挑戦しています。

日々の業務プロセスを洗い出し、業務の流れを再構成しながら自分たちで業務支援システムを作っています。ソフトウェア開発の専門家からアドバイスを受けながら、同じ職場の職員4名と日々苦戦しつつも、みんなの業務がスムーズに進む姿を想像してワクワクしながら開発を進めています。

そのほか、電気職として電気設備工事の設計や現場監理を担当することもあります。

Q.市役所の意外だったギャップは何ですか？

職員の専門知識の豊富さや、現場対応力の高さに驚いたことを覚えています。

入庁する前は、「公務員はデスクワークが中心で、技術的な話はあまりしない職場なのかな」と思っていたのですが、設計や工事に対するチェックの厳しさに触れたり、故障時の迅速な対応に携わったりすることで、そのイメージは180度変わりました。

Q.技術者として面白い瞬間は？

事例がないからこそ、業務を遂行する上で乗り越えなければならない壁（課題）が次々と出てきます。

しかし、関係部署などから丁寧に情報を収集し、論理的に課題を解決していきながら、無事に業務をやり遂げられたときには、技術職ならではの大きな面白さを感じます。

Q.困った時の相談方法と環境は？

業務で困った時や不安を感じた時は、すぐに近くの先輩や係長に相談できる環境があります。

自分が理解できるまで、二度三度と図などを使って丁寧に教えてもらえますので、地道にステップアップしていることを日々実感できます。

Q.休暇は取りやすい環境ですか？

業務の時期などを調整することで、比較的自由に休暇を取得することができます。

そのため、旅行などの予定も立てやすく、プライベートをしっかりと充実させてリフレッシュできる環境が整っています。



ある1日のスケジュール

08:30 朝礼・メール確認

全体の連絡事項を共有し、業者や他部署からの依頼に優先順位をつけます。

09:00 設備改築計画会議

「限られた予算で最大の効果を出す」ための工事計画や予算調整を行います。

10:00 土地使用に関する窓口対応

所管する土地の問合せや使用許可申請の手続き業務を行います。

10:30 業務支援アプリ開発伴走支援会議

業務支援アプリの開発について、伴走支援業者からノウハウや助言等をご教授いただいています。

12:00 昼休憩

部署内でまとめて注文するお弁当屋さんのお弁当を食べてリフレッシュ。

13:00 資料作成

午前の確認事項をもとに、上司への報告資料や関係部署向けの書類を作成。

15:30 業務支援アプリ開発

午前中に学んだノウハウを活かし、改善すべき業務プロセスの洗い出しやアプリの開発。

17:15 退庁

翌日の予定と未処理の緊急案件がないかをチェックして、退庁。

未来の後輩へのメッセージ

市役所の技術職の仕事は、技術分野だけに留まりません。

規程の運用、財務、土地の管理、そして契約事務まで、多種多様な知識と経験が必要になります。

最初は覚えることが多く大変かもしれませんが、一つの業務で学んだ知識が、次の仕事で驚くほど生きてきます。

幅広い視野を持った、魅力的な技術者を目指して、ぜひ一緒に働きましょう！